

情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2021年 9月 21日作成

■研究課題名	胃酸分泌抑制薬内服中の高齢者に対する非刺激性下剤の検討
■研究の対象	以下の条件をすべて満たす症例を対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・2020年1月1日～2020年12月31日に当院に入院 ・PPIまたはH₂blockerを内服中 ・ルビプロストンまたは酸化マグネシウムの単独投与を開始した60歳以上の患者 ・便秘の症状がCTCAEでGrade2以上
■研究目的・方法	<p>【目的】 高齢の方では胃食道逆流症やアスピリン・非ステロイド性抗炎症薬などの酸関連疾患の発症リスクが高く、胃酸分泌抑制薬を内服している割合が高い傾向にあります。入院中に便秘を訴える高齢患者さんに対しては一般的に非刺激性下剤が選択されますが、酸化マグネシウムはその作用機序から胃内pHの上昇によりマグネシウム濃度が著しく低下するとの先行研究があります。そこで本研究では、非刺激性下剤の中でも酸化マグネシウムとルビプロストンの効果の比較を行い、胃酸分泌抑制薬内服患者に対する下剤の検討を行います。</p> <p>【方法】 2020年1月から2020年12月31日までの間に当院で入院加療を受けた方の臨床情報を診療記録を遡り、後ろ向き調査を行います。</p>
■研究期間	倫理委員会承認日から 2021年 12月 31日
■研究に用いる 試料・情報の種類	診療録を参照し、使用薬剤の内容や、臨床症状などの臨床情報を収集します。
■試料・情報の 取得と保管方法	臨床情報を取り扱う際には研究対象者の個人情報を匿名化し、抽出データからは個人が特定できないようにします。
■外部への 試料・情報の提供	本研究結果については学会発表にて公表します。個人を特定できる情報は使用いたしません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 薬局 (研究責任者) 中村 友里乃 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545</p>	